

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-1 健康づくりの推進

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 健康推進課長 知念 希和 電話番号 0852-22-5248

事務事業の名称	生活習慣病予防対策事業	
目的	(1) 対象	県民（概ね40歳以上）
	(2) 意図	1. 生活習慣病になる人を減らす 2. 生活習慣病の早期発見をする 3. 生活習慣病の人の適正管理を進める
事業概要	健康長寿日本一を目指し、健康的な生活習慣の確立を図るとともに、がん、脳卒中、糖尿病等の生活習慣病の予防や連携のための協議検討や普及啓発等を行う。 ①地域・職域連携健康づくり推進事業 ②脳卒中対策事業 ③糖尿病対策事業 ④たばこ対策推進事業 ⑤運動普及事業 ⑥特定健康診査・特定保健指導負担金、健康増進事業補助金 ⑦がん対策	

## 2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	特定健康診査受診率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		70.00	70.00	70.00	70.00	
式・定義	特定健康診査受診者数/対象者数（医療費適正化計画より）		実績値	45.00	46.60	45.10	46.90		%
			達成率		66.60	64.40	67.00		%
指標名	がん検診受診者数を増加させる		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		160,000	170,000	180,000	190,000	
式・定義	市町村におけるがん検診の受診者数（島根県がん対策推進計画に基づく）		実績値	147,677	138,615	141,005	136,749		人
			達成率		86.60	82.90	76.00		%

## 3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	141,149	162,364
うち一般財源(千円)	113,925	134,147

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○がん検診受診者数（市町村実施分）の受診者数は伸び悩んでおり、達成率は76%に留まっている。  
 ○特定健診の結果では、肥満者割合が34.9%と近年35%前後で横ばい状態。特に男性が48.2%と高い。  
 ○職場での健康づくりの好事例を作成し、波及のために周知を図った。  
 ○たばこ対策指針を策定し、重点的に取り組む柱を決め、たばこ対策指針を盛り込んだ。  
 ○島根県糖尿病予防・管理指針を作成し、予防や重症化防止のための重点的な取組について記載した。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

○たばこ対策指針、糖尿病予防・管理指針を作成し、重点的な取組や各機関の役割を明確にした。  
 ○全国健康保険協会島根支部との健康づくりの包括的協定により、働き盛り世代の健康づくりの取組がより連携した形で取り組めることとなった。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- 特定健診、がん検診の受診率が依然として低い。
  - 青年期以降に運動不足、朝食の欠食、喫煙、歯周病等の生活習慣の課題が多い。
  - 壮年期から高血圧や糖尿病などが急増する。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 被扶養者の受診率が低い傾向にある。
  - 働き盛り世代の健康への関心の低く、生活習慣病に関する情報入手の機会が乏しい。
- ③原因を解消するための「課題」
- 特定健診、がん検診受診について、職域への働きかけの強化
  - 事業所が主体的に健康づくりに取り組めるようなきっかけ作りが必要

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 働き盛り世代に対して、協会けんぽ等と連携した働きかけの強化
  - ・脳卒中対策では、脳卒中予防の啓発強化としてチラシ配布
  - ・運動習慣のきっかけづくりとして、事業所向け運動チャレンジコンテストの実施
  - ・事業所が主体的に取り組むたばこ対策について、「取組宣言」として公表
- 受動喫煙防止対策の強化
  - ・旅館組合との連携による、宿泊施設の受動喫煙防止対策の現状把握調査実施

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）